

競技者注意事項

1. 本大会は、「2026年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則」並びに「本大会要項」を適用するが、児童の参加を考慮して教育的配慮のもとに競技を進行する。
2. 表彰は、各種目1位から3位までに賞状とメダルを、4位から8位には賞状を授与する。個人種目は持ち帰り、リレー競技は閉会式に優勝チームに優勝旗を授与する。(優勝旗は持ち回りとし、レプリカを贈呈する。)
3. 練習は多目的運動広場を使用すること。本競技場での練習(ジャベリックボール投を含む)は、開会式10分前の8時50分までとする。(監督・指導者は安全に十分注意すること)
4. ジャベリックボール投の練習は本競技場以外では行わないこと。
5. 競技についての注意
 - ①競技者は、陸協登録番号(アスリートビブス)を胸と背につけること。ただし、走幅跳の選手は胸・背のどちらかでもよい。また、800m1000mに参加の選手は、スタート地点で配布される腰ナンバーカードを右腰につけること。
 - ②リレー競技に出場するチームは、その競技種目第1組の招集完了時刻1時間前までに所定のオーダー用紙を正面玄関受付に提出すること。(1チームA4版1枚)
 - ③リレー競技の招集は、その競技種目第1組の招集完了時刻までに、100mスタート側の倉庫内に設けられた招集所に集合し、点呼を受けること。
 - ④リレー競技以外の招集は、トラック種目は100mスタート側の倉庫内、フィールド種目は現地で行う。
 - ⑤招集完了時刻は、裏表紙の競技日程のとおりとする。
 - ⑥棄権届の提出は、個人種目招集完了時刻までに所定の棄権届を正面玄関受付に提出すること。リレー競技は、オーダー用紙提出時刻までに提出すること。
 - ⑦バトン・スターティングブロックは、競技場備え付けのものとする。ただし、スターティングブロックは使用しなくてもよい。(チャレンジ100m出場者も同じとする)
 - ⑧チャレンジ100mとリレー第1走者のスタート姿勢はクラウチングスタートを原則とする。
 - ⑨シューズ、スパイクについて、競技に際しては、競技に適したシューズまたはスパイクシューズを使用する。(危険防止のため、素足での競技は禁止とする)トラック競技もフィールド競技もすべてWA承認リストにあるシューズを使用すること。スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、先の尖ったニードルピンなどではなく、平行ピンのスパイクピンを使用すること。
 - ⑩4×100mRの予選はタイムレースとし、上位8チームで決勝を行う。同タイムの場合は抽選により決定するので、アナウンスがあり次第、ただちに監督及び当該選手は本部まで集合すること。
 - ⑪800m・1000mはタイムレース決勝とする。
 - ⑫走幅跳・ジャベリックボール投は3回の試技で順位を決定する。
 - ⑬走幅跳においては、砂場脇にコーチングエリアを設置する。(各チーム1名)
6. 組み分けおよびレーン順について。
 - ①主催者が公平に抽選して決める。
 - ②レーン順は、プログラム記載のとおりとする。
7. その他
 - ・大会中にけがや事故等が発生した場合、応急処置のみ行う。それ以後については、保護者または監督・指導者に願います。
 - ・ゴミについてはすべて各自持ち帰ることとする。
 - ・熱中症事故防止のため適切な水分・塩分補給を適宜行うこと。